

# 同窓会報

大河原町立実科高等女学校 大河原中学校 宮城県大河原商業高等学校 同窓会事務局  
 大河原実科高等女学校 柴田高等学校 普通部 千 989-1201 大河原町西原前 154-6  
 大河原高等女学校 大河原高等学校 電話 0224-52-1064 FAX 0224-52-1568  
 大河原中学校 大河原商業高等学校 URL http://www.ogs.myswan.ne.jp  
 編集・製作 (有)明倫社

## 満開の一目千本桜



同窓会長  
大沼 俊臣

同窓生の皆様お元気ですか。

それぞれの地域でご活躍のこととお慶び申し上げます。今年も若者達全日制百九十名・定時制十三名が大いなる希望を持って、母校を巣立っていきました。職場や地域で諸先輩方との出逢いがあることと思います。その節はぜひ同窓生の誼で支えていただければ幸いです。

さて私事です。昭和四十三年卒で、その後無線学校へ進学し夢をもち、漁船の通信長として九年間乗り組みました。農家生まれの私です。で最初から船の上での仕事はめずらしい事ばかりで慣れるのが大変でした。外国航路にあこがれてこの道にふみ込んだのですが、現実には甘くありませんでした。でもたくさんの外国地に立ちより、多くの国を見る事ができ、人生にとって良かったなと今は思います。

現在の若者は、まず夢を見るのが少ないと思います。まず夢を見て、実現は少なくても良いと思います。それに向かって努力することで得られる経験や知識が今後の自分の人生に大きな糧になります。その経験をもとに進む方向が良いものとなり心豊かな人生を送っていただければと思います。

今年四月一日に新しい元号の「令和」が発表され、五月一日より施行され新しい時代が始まります。我が母校も「大正」「昭和」「平成」「令和」と四つ目の元号とともにこれから創立百周年を迎えようとしております。学校でも実行委員会を立ち上げながら今後どのように進めていくかを協議して記念すべき百周年の記念事業を執行させていきたいと思っております。同窓会の皆様益々団結し、スムーズな運営をしていく様、皆

様から応援を受け努力していく思いです。四年後の合併まで色んな良き意見を皆様から聞き結論を出したいと思っております。

同窓会の皆様にとつて今年もご健勝で、ご多幸の一年でありますよう、心より祈っております。

## 新元号に思いを寄せて



校長  
佐々 浩二

同窓生の会員の皆様には、日頃より本校の教育活動のためご尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年度の活動については役員会や総会といった定番の行事に終始し、無事に終わることが出来ました。ご協力をいただきました役員や一般会員の皆様に感謝申し上げます。

はじめに本校と柴田農林高校の統合についてですが、校舎設計や教育課程、校務分掌の調整などを行い、今年度中に完成するよう進めてまいります。その他、学校名や教育目標、部活動の在り方など課題が山積しています。今後進展がありましたら同窓生の皆様にご報告させていただきます。

次に四月一日に新元号が発表され、五月一日に天皇即位の礼とともに施行されました。元号が変わることによって何か身近な事が変わることはありませんが、「令和元年」の年をきつかけに過去の「昭和」「平成」を顧みる事ができます。

昭和の時代は悲しい戦争があり、大変な思いをした時代でした。戦後は貧しく厳しい経済情勢でしたが、貧しくとも笑いの絶えない時代だったと思います。何かあれば隣近所が親身になって手をさしのべてくれる。地域全体が家族

のような存在でした。核家族が進み、平成では隣近所との付き合いがなくなり、すぐ隣なのにどういう人かもわからない時代になりました。人と人との関係が希薄になり、無関心な風潮が蔓延した時代だと思えます。しかし同窓会はその希薄な関係を強く結びつけてくれます。初めて会う人でも同じ学校の卒業生というだけで親近感が沸きます。新元号になっても同窓会の活動は今までと変わることなく活発に行われることを祈念しております。

校内では今年度から百周年の実行委員会が立ち上がります。令和三年度記念式典実施に向けての取組となります。特に記念講話については頭を痛めるところで、会員の皆様の身近なところに相応しい人財がおりましたらご紹介ください。できれば同窓生がいいだろうという話もありますが、他にも地元宮城県で頑張っている方がいればご紹介ください。宜しくお願ひします。

最後になりますが、本校同窓会の益々の発展と、会員の皆様のご活躍・ご健勝を祈念して年度初めのご挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 大河原商業高等学校に

### 赴任して



教頭(定時制)  
山本 博

この度の異動で、小野正美教頭先生に後任として、宮城県仙台二華高等学校より赴任した山本博と申します。

出身は大河原町と同じ仙南地域の丸森町です。高校の教員となつて三十年近くがたちます。初めて仙南地域の学校勤務となりました。通勤の途中には、校歌にも歌われている蔵王を遠

# 人事往来

## ○御勇退者

くに臨み、さらに定時制の職員室からより雄大な蔵王の眺めをまじかに一望し、改めて仙南地域に戻ってきたと感じる毎日です。現在も丸森町には両親が居住し、帰省した折には、買い物をはじめ両親の通院などしばしば大原原を訪れており、今回大原商業高等学校に勤務することになったのも、何かの縁を感じます。

定時制の学校勤務は初めてですが、初任校が薬館高校瀬峰分校で在籍生徒数が百名ほどでした。そこでは、大規模な学校にはない生徒一人一人に対応した、きめ細やかな教育が行えたことが自らの教員人生の原点になっていると感じています。今回も同様の環境で五十名ほどの在籍数で、定時制の先生方が生徒一人一人に対して熱意溢れる指導を行い、充実した教育活動を展開していると感じており、教頭として生徒が生き生きと学校生活を送れるように全力を尽くさなければいけないと、決意を新たにしています。

また、少子高齢化、グローバル化が進展し、AI（人工知能）が発達し、従来の社会と違う社会が生徒たちの未来には待っています。そこにおいて、定時制を卒業した生徒たちが活躍できるように教育を、少人数の強みを生かして行いたいと考えています。

さて、令和三年（二〇二一年）に大原商業高校全日制百周年が、定時制の八十周年を迎えるという節目があります。そのような節目の年に向けて、大原商業高等学校の教育活動がより充実したものになるよう、全力を尽くす所存であります。同窓会は、学校最大のサポーターであり、多くのご支援に感謝しております。今後とも同窓生の皆様におかれましては、ご指導ご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

菅野 昭彦 先生（全） 定年退職・再任用  
大槻 雅彦 先生（定） 定年退職・再任用  
瀬戸 正博 先生（全） 退職  
幕田 秀一 先生（全） 再任用退職  
伊藤 尚宏 先生（定） 再任用退職  
増岡 隆 先生（全・定） 講師  
鈴木 秀明 先生（全） 講師  
大沼 愛子 先生（全） 講師  
菊地 紗代 先生（全） 講師  
高橋 忠之 先生（全） 講師  
伊藤 美幸 先生（事務）

## ○御転出者

小野 正美 教頭先生（定）（白石高校）  
阿部 恵 先生（全）（美田園高校）  
加藤 章 先生（全）（鹿島商業高校）  
芳賀 賢祐 先生（全）（仙台東高校）  
瀬川 秀人 先生（定）（視覚支援学校）  
加藤 純寿 先生（事務）（船迫小）

ご勇退なさいました先生方の御健勝と御転出される先生方の新天地でのご活躍をお祈り申し上げます。

## ○御転入者

山本 博 教頭先生（定）（仙台華高校）  
斎藤 朗 先生（全）（柴田農林高校）  
平間 英男 先生（定）（白石高校七ヶ宿校）  
嘉藤 敏之 先生（全）（仙台西高校）  
大友 武史 先生（全）（仙台商業高校）  
猪股 星馨 先生（全）（仙台市立加茂中）  
菅原 祥平 先生（定）（新採）  
牛木 雅也 先生（全）（新採）  
小関 隼 先生（全）（講師）  
半沢 航 先生（事務）（船岡支援）  
高橋 祐実 先生（事務）（県工業高校）  
安久津 勝信 先生（全）（講師）

瀬戸正博先生、菅野昭彦先生、大槻雅彦先生が退職を迎えられました。今年度、菅野先生先生、大槻先生は再任用として勤務されます。また、昨年度まで再任用として勤務いただいた幕田先生は、今年度非常勤講師として勤務されます。よろしくお願いたします。

## ○訃報

我妻 三男 先生  
平成三十一年一月逝去  
教諭 昭和三十年〜昭和四十五年  
校長 昭和五十八年〜六十二年

社会科の教諭、校長として二度の赴任をされた我妻先生が逝去されました。在りし日の先生の功績を偲び心から「冥福をお祈り申し上げます」。

# 同窓会総会報告

## 本部総会

平成三十年五月二六日（土）、大原町の総合会館ララ・さくらを会場に平成三十年度同窓会本部総会が開催されました。

当日は、総勢三八名の同窓生の皆さんに参加いただきました。今年度も、恩師の先生方をお迎えして盛大に開催されました。参加いただいた先生方は、昭和五十三年度から昭和五十八年度まで本校で勤務していただいた水原義廣先生、昭和五十九年四月から平成九年三月まで本校で勤務していただいた菅野則明先生、昭和五十九年度から平成八年度まで本校で勤務していただいた武澤正一先生、教諭として昭和六十二年度から平成二年度まで、校長先生として平成二十七年から平成二十八年度まで本校で勤務佐藤充幸先生です。

総会では、柴田農林高校との統合についての話や、同窓会運営についての協議等が行われました。協議の中で今後の運営を活性化する方法として、引き続き当番学年の同窓生の皆様に活発な会への参加を促すとともに、一〇〇周年に向けて積極的に基金を募っていくというご意見をいただきました。

総会後には、毎年恒例となったギター部の演奏が行われ、会場は感動とそれぞれの懐かしい当時の思い出に包まれました。演奏会

終了後には、懇親会が開催され、恩師を囲みながら各テーブルでは当時の思い出話に花が咲いていました。最後には、大高校歌と大商校歌を高らかに歌い、盛会に終わりました。ご参加いただいた同窓生の皆様、恩師の皆様へ心から感謝申し上げます。

同窓会総会は、毎年五月の第四土曜日に開かれます。五月に入りましたら近隣にポスター等も掲示されますのでぜひお気軽にご参加いただければと思います。また、大原商業高校内にあります同窓会事務局にご連絡いただければ日程の詳細もお伝えしております。お問い合わせいただければ幸いです。



## 東京支部総会

平成三十年六月二十三日（土）に東京都上野御徒町にて宮城県大原商業高等学校同窓会東京支部総会が開催されました。東京支部総会は、本部総会から一か月後の六月の第四土曜日に「池田屋」を会場に行われています。毎年本部総会に負けない賑わいを見せており、今年も二十二名の同窓生に方にご参加いただきました。

同窓会本部より参加した、大沼同窓会長からは柴田農林高校との合併に向けた両校の考え方や今後の方向性についての現状を報告



いただきました。また、佐々校長先生より学校としての合併に向けての進捗状況などのお話をいただくことが出来ました。懇親会では、毎年参加している同窓生の皆さんを中心として和やかな雰囲気にも包まれたとても楽しい会となりました。

東京支部総会では、より多くの同窓生の皆さんにご参加いただけることを願っております。ぜひ、東京近郊だけでなく遠方からお集まりいただき高校時代の思い出に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

ご参加いただける方は、ぜひ事前に同窓会事務局（宮城県大河原商業高等学校）までご連絡ください。



### 職域同窓会 宮城県警同窓会おぎの会

一月十九日（土）仙台市の法華クラブにて宮城県警職域同窓会が開催されました。

本校を卒業した宮城県警OB・現役警察官の方々で組織されており毎年同窓会を開催しています。今年も十七名の同窓生が集まりました。各方面で活躍されている同窓生が多く、会長の遠藤浩幸さん（昭和五十四年卒）は四月から宮城県警生活安全部長から刑事部長を拝命され活躍されています。その他にも警察署副署長や機動隊で後進を指導する立場であったり様々な重責を背負っている方が多く、現役時代の話で懐かしんだり、普段の職務について先輩から後輩へ助言を送るなど楽しい雰囲気の中で会は進みました。

学校から佐々校長と事務局が初めて参加し、恩師として第十八代校長の米谷稔先生もご出席され、元氣な姿を拝見することができました。近年は警察官になる卒業生が少なく、現在は退職された方の方が多くなったとのこと宮城県民の安全を守る警察官になる生徒が一人でも増えてもらえたらと思います。



### 同窓会事務局より



長年の警察業務に尽力され、ご功績が認められ、同窓生の伊藤長作さん（昭和三十六年卒）が瑞宝小授章の叙勲を受賞されました。また佐藤富雄さん、黒田正彦さん（ともに昭和四十年卒）も瑞宝双光章をそれぞれ受賞されました。瑞宝章とは国及び地方公共団体の公務に長年にわたり従事して功労を積み重ねられ、功績を挙げた方に授与されます。この栄えあるご受勲を心よりお祝い申し上げます。

### 御礼のご挨拶



株式会社  
伊藤コンサルタント  
代表取締役  
**伊藤 長作**  
行政書士

（昭和三十六年三月）  
大河原高等学校商業科第三回卒業生

平成三十年十一月三日付で、四十年の警察官人生に対して、不肖私が瑞宝小授章の叙勲の榮に俗することが出来ました。小生にとりましては、望外の喜びであり、且つ生涯の素晴らしい思い出でもあります。今回の榮誉は、今日まで母校大河原商業の恩師並びに先輩・同級生等を始めとして多くの皆様方からの頂いた数々の心暖まる御指導・御鞭撻の賜であり、重ねて御礼と感謝を申し上げます。

今後は、これまで賜りました御教示をしっかりと心で刻み、心身の健康に留意しつつ叙勲の榮誉に恥じることのないよう残余の人生を「世のため、人のため」に最善を尽くして参る所存であります。どうか今後とも、これまで同様のお付き合いと御指導を賜りますようお願い申し上げます。結びに、皆様並びに御家族皆様方御健康、御多幸と今後益々の御隆盛を心より御祈念申し上げます。

### 宮城県大河原商業高等学校 創立一〇〇周年記念事業 募金のお願い

本校は、令和三年（二〇二二年）に創立一〇〇年を迎えます。大正十一年（一九二二年）に「大河原町立実科高等女学校」として設立され、昭和二十四年には宮城県柴田高等学校普通部、同二十八年には宮城県大河原高等学校として分離独立いたしました。昭和四十八年四月には現在の宮城県大河原商業高等学校と改称され、今日に至っております。

この間、「文質彬彬」を校是とし、良き伝統と歴史を積み重ね、今日の発展を築き上げて参りました。現在は、仙南地域の唯一の商業高校として、産業を担う人材を輩出し、地域社会の発展に貢献しています。卒業生はこれまで二万名を超え、その活躍は国内外にわたっているところであります。

私たちは、この記念すべき一〇〇周年を迎えるにあたり、母校の発展を期して、記念誌の作成など記念事業を計画しております。記念事業の実施に当たっては、四月より「一〇〇周年準備委員会（仮）」の組織を立ち上げて学校全体で取り組んで参ります。つきましては、出費多端な折、誠に恐縮ではございますが、この趣旨にご理解ご賛同いただき、皆様の絶大なる御協力と心からの御芳志を賜りたくお願い申し上げます。

また本校は柴田農林高等学校と平成令和五年（二〇二三年）より統合し新しい学校が開校し、六年末には閉校の運びとなります。

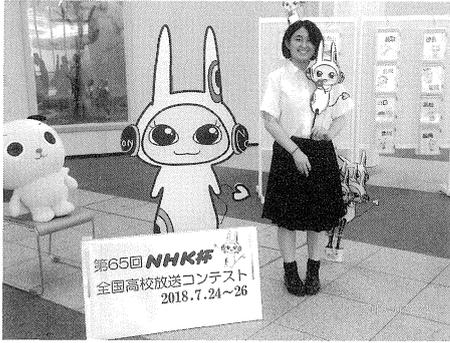
# 全 日 制

## 二年間の朗読を終えて

放送局 沖村 汐理

私は七月二十一〜二十六日に開催された第六十五回NHK杯全国高校放送コンテストと八月九日・十日に開催された第四十二回全国総合文化祭信州総文祭の朗読部門に出場しました。

今年は大大会出場前にたくさんの先生方に朗読を聞いて頂いたおかげで緊張もせず、吹っ切れた状態で読むことができませんでした。徐々に朗読を聞いてもらう機会が増え、意見を取らなければいけないと考え、そして賞を取らなければいけないと考へてしまいました。そのため頂いた全部の意見を受け入れようとしたのです。その結果、自分でも好きだった自分流の朗読ができなくなりました。そして同じ時期にアレルギー性鼻炎を発症し、思うように声が出せなくなりました。私はその全ての出来事に絶望し、朗読を、放送局を辞めようと考えた時期もありました。しかし、顧問の先生をはじめ部員のみんなや



家族に励ましの言葉をもらいました。そこから励まされた意見を全て取り入れるのではなく、必要だと思ふところだけを取り入れるようにしました。すると、周りを気にせず自分のパフォーマンスに集中できるようになりました。今年密かに立てていた「朗読をまた好きになる」という目標を達成することができました。

## 全国大会を終えて

ギター部 齋藤 夢

私たちがギター部は、十月八日に東京都の江戸川総合文化センターで行われた第四十九回全日本ギターコンクールに出場しました。

私はコンクールへ向けての練習が本格的になると、とても不安な気持ちでいっぱいでした。今年度は三連覇というプレッシャーや三年生が四人と少なく精神面でも指導面でも悩むことがたくさんありました。ですが、三年生だけでは手の回らないところは二年生がサポートしてくれて、一年生も最後まで必死についてきてくれました。

コンクール本番まで、私たちは毎日たくさん練習し日々努力しました。普段の練習に加え夏合宿、秋合宿を行いさらに曲に磨きをかけました。コンクールの練習は心が折れそうになることもありましたが、どうすれば自分、そして後輩が成長できるのかたくさん悩み、壁にぶつかりました。そんなとき心の支えになったのがいつも一緒に部活動をしている部員たちです。私が相談をすると親身になって聞いてくれました。また、誰かが頑張っている姿を見ると自分も頑張ろう!と思えました。コンクールに向け一緒に頑張った日々は私にとっても大切な思い出です。

コンクール本番はとても緊張しましたが楽しく演奏することができました。結果は今年度も最優秀賞を受賞することができ三連覇を勝ち取ることができました。これまでもみんなで悲しみ、喜びそして何よりもコンクールで最優秀賞を受賞できたときの達成感や感動は限られた人しか味わうことができません。その喜びを味わえた私は幸せ者です。その気持ちと同時に今年度指揮を振ってくださった恵先輩、顧問の石山先生、麻美先生、応援してくださった父母会の皆さん、OG・OBの先輩方、地域の皆さん、他にも応援してくださった方々、そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのご声援本当にありがとうございます。これから先輩たちにはコンクールで学んだことを生かし、今後の部活に繋げていってほしいです。



## 部活動報告 (全日制)

### 運動部

- ▼サッカー部 ▲
- 〔全国高校サッカー選手権大会・宮城県大会〕
- 1次予選敗退
- ▼ソフトボール部 ▲

- 〔県総体〕 初戦敗退
- 〔県新人大会〕 初戦敗退
- ▼硬式野球部 ▲
- 〔全国高等学校野球選手権宮城県大会〕
- 1回戦敗退
- ▼剣道部 ▲
- 〔県総体〕 女子個人戦 1回戦敗退
- ▼ソフトテニス部男子 ▲
- 〔仙南総体〕
- 個人戦 準優勝 (秋山・木村)
- 団体戦 準優勝
- 個人戦 準優勝 (齋藤・大浦)
- 個人戦 準優勝 (日下・高橋組)
- ▼ソフトテニス部女子 ▲
- 〔仙南総体〕
- 個人戦 準優勝 (日下・高橋組)
- 団体戦 第3位
- ▼バスケットボール部男子 ▲
- 〔仙南総体〕 第5位
- 〔県総体〕 3回戦敗退
- ▼バスケットボール部女子 ▲
- 〔仙南総体〕 第5位
- 〔県総体〕 2回戦敗退
- ▼バドミントン部男子 ▲
- 〔県総体〕
- 団体戦 1回戦敗退
- ダブルス 2回戦敗退
- 〔県新人大会〕
- 団体戦 1回戦敗退
- ▼バレーボール部男子 ▲
- 〔県総体〕 1回戦敗退
- ▼バレーボール部女子 ▲
- 〔仙南総体〕 第4位
- 〔県総体〕 2回戦敗退
- 〔仙南秋季大会〕 準優勝
- 〔仙南新人大会〕 準優勝
- ▼卓球部男子 ▲
- 〔仙南総体〕
- シングルス 第3位 (佐藤)
- 〔県総体〕
- 団体戦 1回戦敗退
- ダブルス 2回戦敗退
- 〔仙南総体〕
- 団体戦 ベスト4
- ダブルス 第3位 (茅野・佐藤組)
- 〔県総体〕
- 団体戦 2回戦敗退
- 〔全日本卓球選手権ジュニアの部仙南地区予選会〕
- 準優勝 (小林)

# 定時制

## 全国大会に出場して

定時制三年 渡邊 英斗

一昨年、昨年に引き続き、今年、自分にとって三回目の全国大会に出場した。結果は残念ながら一回負けだった。全国で勝つのはやはり難しい。負けて考えてみた。大して年齢も変わらないのにも関わらず優勝する人もいれば、私のように一回線で敗退する人もいる。この差は何だ！、何故これほど差が歴然なんだろう。

まず考えられるのは、練習量であるとか、経験値であるとか、環境によるものである。

やはり、練習がものを言うのだから、毎日自分と同レベルの相手と切磋琢磨し合える環境が整っている自衛隊の学校などが強いのは肯ける。

そしてもう一つ、それは遺伝子などの先天的な素質である。どの分野においても、天才を開花させれば優勝してしまわさべさだろう。

だがこの二つではまだ不十分だと思う。環境や才能が伴っていても、辛さや苦しきはある筈だ。それも環境と才能のレベルが高ければ高い程、増すものだ。

それを乗り越えるには、精神的な強さや、忍耐力が必要になってくる。それには、環境や才能などは全く関係なく、自分自身の問題となる。そこにこそ強さの差があると私は考えた。

私は柔道を初めて七年。楽しかったり、辛かったり、途中挫折したこともあった。だが、今は柔道を始めて良かったと思っ

ている。  
来年はいよいよ四年生。最後の大会になる。できる限り練習を重ね、全国大会で自分のベストを出したい。そのために

は仕事も勉強もそして柔道も、決して手を抜かず、自分に厳しく取り組んでいきたいと思う。  
自分に勝つ。これこそが大切だ。

## 部活動報告(定時制)

### クラブ活動

◇仙南大会(6月9日)

バドミントン部(白石高校体育館)▲

男子個人 第2位 四年 渡邊 竜真

第3位 四年 菅野 凌斗

女子個人 第3位(三年) 遠藤 綾夏

卓球部(名取高校体育館)▲

男子個人 第2位 一年 渋谷 寿樹

バスケットボール部(本校第一体育館)▲

男子 第2位

柔道部(本校柔道場)▲

練習会

◇県大会(6月16日)

バドミントン部

(仙台市立工業高校第二体育館)▲

男子団体 一回戦敗退

女子団体 一回戦敗退

卓球部(仙台市体育館第二競技場)▲

男子個人 一回戦敗退

女子個人 一回戦敗退

バスケットボール部(仙台市若林体育館)▲

男子 一回戦敗退 対貞山

柔道部(仙台大志高校武道場)▲

男子団体

優勝 対星槎高校 三ー一

男子個人

65kg級以下 第2位 一年 小野 優人

90kg級以下 第1位 三年 渡邊 英斗

第2位 一年 平沢 偲

第3位 一年 大沼 北斗

◇全国大会

柔道部(8月4、5日 東京都講道館)▲

男子団体(宮城県) 一回戦敗退

男子個人

90kg級以下 一回戦敗退 三年 渡邊 英斗

- 〔仙南新人大会〕
  - 団体 第3位
  - シングルス 準優勝(小林)
  - 〔県新人大会〕 団体 1回戦敗退
- 〔水泳部〕
  - 男子400m メドレーリレー
    - 第3位(高橋・古川・菅原・佐々木)
    - フリーリレー
      - 第3位(佐々木・古川・高橋・菅原)
  - 男子50m 自由形
    - 第1位(古川)
    - 第2位(高橋)
  - 男子100m 自由形
    - 第1位(古川)
    - 第2位(高橋)
- 〔陸上競技部〕
  - 〔仙南総体〕
    - 男子砲丸投 第1位(塚目)
    - 男子走高跳 第2位(吉水)
    - 女子400mリレー 第3位
  - 〔仙南新人大会〕 女子走高跳 第1位(宇藤)
- 学芸部
  - ギター部▲
    - 〔全日本ギターコンクール〕
    - 合奏部門 学校の部 最優秀賞
  - 珠算電卓部▲
    - 〔県珠算・電卓競技大会〕
    - 〔電卓競技〕
      - 団体総合競技 優勝
      - 個人総合競技 優勝(渡邊)
      - 第2位(熊谷)
      - 第3位(伊藤)
  - 種目別競技伝票算
    - 優勝(渡邊)
    - 第2位(齋藤)
    - 第3位(高橋)
  - 種目別応用計算
    - 優勝(伊藤)
    - 第2位(渡邊)
    - 第3位(高橋)
- 〔全国高等学校珠算・電卓競技大会〕
  - 団体・個人 出場
- 〔県商業実務総合競技大会〕
  - 〔電卓の部〕
    - 団体総合 優勝
    - 個人総合 優勝(伊藤)
    - 第2位(渡邊)
    - 第3位(高橋)
  - 伝票算
    - 優勝(伊藤)
    - 第2位(渡邊)
    - 第3位(高橋)
  - 応用計算
    - 第2位(庄司)
    - 第3位(熊谷)
- 〔東北珠算・電卓競技大会〕
  - 〔電卓の部〕
    - 団体 出場
    - 個人 第2位(佐藤)
    - 第3位(高橋)
- 〔東北ワープロ競技大会〕
  - 団体 出場
  - 個人 第1位(菅野)
  - 第3位(高橋)
- 〔全国ワープロ競技大会〕 個人 出場
- 〔県商業実務総合競技大会〕 個人 出場
- 〔コンピュータ部〕
  - 〔県情報処理競技大会〕
    - 団体 準優勝
    - 個人 優良賞(橋浦・廣澤)
  - 〔全国情報処理競技大会〕
    - 個人出場(橋浦・廣澤)
  - 〔ビジネス情報部〕
    - 団体の部 優勝(橋浦)
    - 個人の部 優勝(廣澤)
  - 〔アルゴリズム部門〕
    - 団体の部 第2位
    - 個人の部 優勝(廣澤)
  - 〔簿記部〕
    - 〔県簿記コンクール〕
      - 個人出場(小島・佐々木)
    - 〔県商業実務総合競技大会〕
      - 〔商業簿記部門〕
        - 団体 優勝
        - 個人 優勝(芳賀)
      - 〔簿記会計部門〕
        - 団体 第2位
        - 個人 第3位(小島)
    - 〔県書道展覧会〕
      - 特選(的場・高橋・佐藤)
      - 金賞(永沼)
    - 〔美術部〕
      - 〔仙南美術展〕 奨励賞(高橋)
    - 〔吹奏楽団〕
      - 〔県吹奏楽コンクール〕
        - 高等学校小編成の部 銀賞
    - 〔仙南アンサンブルコンテスト〕
      - 銅賞
    - 〔放送局〕
      - 〔県放送コンテスト〕
        - 朗読部門 優秀賞(沖村)
        - 〔全国放送コンテスト〕
          - 朗読部門 準決勝進出(沖村)
        - 〔全国総合文化祭放送部門〕
          - 朗読部門 出場(沖村)
      - 〔商業研究グループ〕
        - 〔県生徒商業研究発表大会〕
          - 優良賞
        - 〔科学部〕
          - 〔県生徒理科研究発表大会〕
            - 優秀賞
        - 〔家庭クラブ〕
          - 〔県家庭クラブ連盟研究発表大会〕
            - 学校家庭クラブ活動の部 優秀賞

# 大商への想い



旧職員  
幕田 秀一

昭和五十四年、大商に非常勤講師として迎えていただき私の教員人生が始まりました。

そして、今年の三月に大商で無事退職を迎えることができました。まさに私の教員人生は「大商に始まり大商で終わる」という何か大商に縁を感じる教員生活でした。非常勤講師時代は諸先輩の先生方から厳しく鍛えていただき、一年で教員採用試験に合格することができました。翌年から最初の赴任地である志津川高校にむかいました。その後、鹿島台商業高校を経て、再び大商にお世話になることになりました。

平成二年から平成十二年までお世話になったのですが、教員生活のなかで最も充実した十一年間でした。当時は、三十代ということもあり、部活動に明け暮れた毎日でした。家庭も顧みず部活動に没頭していました。これについては、女房に本当に感謝しています。赴任して三年目に男子ソフトテニス部の顧問となり、全くの素人の私にとっては未知の世界でした。当時の生徒達には大変迷惑をかけた。その後、自分なりに勉強し、技術面をマスターしようと思ったのですが、なかなか習得できず苦労したことを今でも覚えています。自分の指導では限界があると感じ、県内の強豪校、そして他県への遠征など自分でやれることは、すべてやってみました。そして、インターハイ出場が近づいたとき、さらに気持ちが高ぶると、関東遠征や大学

生との合同練習など周りを気にせず、勝利至上主義で部活動に取り組んでいました。結果、インターハイに出場することはできたのですが、多くの部員に不快な思いをさせてしまいました。当時の生徒達には本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。その後、もう一度インターハイ出場のチャンスが巡ってきたのですが、今度は私に試練が待っていました。右大腿部粉碎骨折という大きな怪我にあり、長期入院となり部活動どころか学校現場を離れる結果となりました。

半年後現場に復帰したのですが、校長先生からは、テニス部から離れてもらおうと言われて、その後、大商テニス部を持つことはありませんでした。

運動部の顧問から離れた私は、校長先生より翌年、宮城県で開催される東北六県商研大会の事務局長を仰せつかり、大変な二年間を過ごすことになりました。何事も手探り状態で、大会運営には、これまでにない経験をしました。それでも、先生方の協力により無事大会を終えることができました。改めて当時の先生方には感謝申し上げます。翌年の人事異動により、再び大商を去ることになり、村田高校、仙台女子商業高校、仙台市立仙台商業高校と異動してきました。そして、平成二十四年に、三度目となる大商に、戻ってまいりました。当然ですが、以前の大商とは異なり、多少の戸惑いを感じたことを今でも覚えていますが、生徒の数が減ったこともあり、活気がなくなつたように感じられました。それでも二十年前の大商生と今も変わらないのは、各種検定試験に取り組む姿勢です。特に簿記検定試験に対する情熱は今も変わっていません。検定試験の一週間前の放課後の補習は一、二年生全員が夜遅くまで頑張っています。この光景は、さすが商業高校と胸を打たれるものがあります。

そして少子化の波は、大商にも影響を及ぼしています。私がはじめて大商にお世話になった頃は一学年七クラスあり、生徒数八〇〇人を超えていました。それが、今では、一学年五クラス五五〇人という現状になっています。特に部活動に対する影響は大きく、運動部への加入率も年々減少してきました。それでも生徒達は、一生懸命部活動に取り組んでいます。もう一度、以前のような活気溢れた部活動に戻れることを心から願っています。

最後に書き残して置きたいことがあります。それは、教え子達が教師となって大商に戻り、すばらしい活躍をしていることです。授業はもちろんのこと、部活動やクラス経営など、それぞれが自分の個性を十分に発揮し頼もしい存在となっています。本当に嬉しい限りです。ひとりでも多くの卒業生が大商に戻り、後輩のために教鞭をとってくれることを期待しています。数年後には大商も閉校となりそうです。寂しさは拭えませんが、それでも卒業生達が、最後の最後まで大商のために頑張ってくれることを願っています。

最後に、同窓生皆様のご健勝と大商のご隆盛をご祈念申し上げます。

# ご案内

今年度の本部総会・東京支部総会を次の通り開催いたします。

## 本部総会

日時 令和元年五月二十五日(土)

午後三時～総会・懇親会

場所 ララ・さくら(大河原町中島)

TEL 〇二二四(五三)一五六三

会費 三,五〇〇円(新卒二,〇〇〇円)

※総会終了後、後輩が奏でるギターの調べをお楽しみください。

同窓会会長 大沼 俊臣

## 東京支部総会

日時 令和元年六月二十二日(土)

午後十二時～総会・懇親会

場所 池田屋(吉池本店ビル九階)

台東区上野三―二十七―十一

JR御徒町駅 北口駅前

TEL 〇三(三八三六)〇四四五

会費 五,〇〇〇円

ひととき雑踏を忘れて語らいます。お誘い合わせて是非ご参加下さい。

東京支部長 黒田 正喜

☆同窓会では、多くの卒業生の皆さんに総会に参加して頂きたいと平成十三年度より当番学年を設けています。今年度の当番学年は昭和四十九年・五十九年・平成六年・二十六年卒業の方々です。役員、卒業時の評議員の方々にお世話役をお願いしております。声を掛けあつて、どうぞご参加下さいませようお願いいたします。

